

「青山剛昌ふるさと館再整備事業の実施に向けたサウンディング型市場調査」の結果について

【調査目的】

民間企業者等を通じて、青山剛昌ふるさと館再整備方式の調整や、権利・運営に対する民間事業者の参画に係る市場性等を確認するほか、管理・運営候補者の検討に向けた条件整理の参考とするため。（※本調査は、事業に参加する事業者を選定するものではありません。）

【調査結果】

・エントリー：11社（うち県内：5社 県外：6社）

【意見／提案集約】

①本事業への参画意向

⇒強く希望する…7社 興味あり…4社

②導入機能、配置、施設規模等への意見・提案

⇒展示内容・展示、収蔵スペース・バリアフリー・交流スペースの充実や敷地活用の提案

③新施設の魅力向上に関する提案

⇒施設機能・福祉機能の充実、イベント・情報発信の充実

④地域振興策、町民参加を促進する取組みの提案

⇒地域参加型イベントの開催、地元企業や学生、鳥取県・近隣施設との連携

⑤初期投資の意向

⇒整備内容・発注方法・業務範囲による

⑥整備・運営方式への意見・提案

⇒町主体が望ましい、業務の一部を民間活用、企業側にリスクのない民間活用
（民間活用の場合は著作権管理元や住民の理解と協力が必要）

⑦管理・運営料の目安、管理・運営期間の目安、収益の還元

⇒管理運営料については現状回答不可、管理運営期間は複数年契約が望ましい
（指定管理や業務委託の場合3～5年、PFI等であれば10～20年程度）

⑧応募しやすい条件

⇒（県内事業者であること…等）参加資格が制限されない、指定管理、実績・企画内容重視

⑨その他

⇒町が主軸となる官民連携、県内の連携強化、著作権理解、現施設の活用、新施設の名称検討